

第三次所沢市市民医療センター改革プラン令和2年度実施状況点検・評価報告書

- 1 第三次所沢市市民医療センター改革プラン（以下「改革プラン」という。）は、平成29年度から令和2年度までの経営に係る計画として、平成29年3月に策定いたしました。

しかしながら、次の改革プランについては、新型コロナウイルス感染症拡大による対応を最優先としたことから、第三次改革プランを令和4年度まで延長し、令和3年度、4年度の目標値を設置しています。

本年度は、令和2年度の実績をもとに、下記評価区分により、評価を行っています。

評価区分	内容	判断基準・評価の視点
A	目標達成	目標が達成できている。 目標達成に向けて成果が出ている。
B	目標をほぼ達成	目標がほぼ達成できている。 前年度の取組内容から改善・充実が図れている。
C	現状維持、取り組みを実施中	ある程度成果は出ているが、目標を下回っている。 前年度に引き続き取り組みを実施している。
D	研究・検討中	具体的な取り組みに向けて検討を行っている。
E	未実施又は達成割合が非常に低い	未実施。 目標達成に向けた効果が認められない。 課題の解決に至っていない。

2 (1) 経営指標に係る数値目標

① 収支改善に係るもの

年度		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
経常収 支比率 (%)	目標値		97.6	99.3	103.3	103.6	103.6	103.6
	実績	96.9	95.3	97.6	98.3	110.3		
	達成率 (%)		97.6	98.3	95.2	106.5		
	経常収益に 占める一般 会計からの 繰入金割合 (%)、金 額)	20.9 366,640 (千円)	20.7 366,358 (千円)	21.5 383,680 (千円)	21.2 392,418 (千円)	46.2 933,017 (千円)		
	実施状況	令和 2 年度の経常収支比率は、目標値を大きく上回りましたが、これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、資金不足が懸念されたことから、一般会計からの繰入金を増額したことによるものです。						
年度		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
医業収 支比率 (%)	目標値		77.8	79.3	83.8	84.1	84.1	84.1
	実績	76.5	75.6	77.0	77.7	59.2		
	達成率 (%)		97.2	97.1	92.7	70.4		
	実施状況	令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入院や外来の減少、健診業務の中止により、医業収益が大幅に減少し、目標値を大きく下回りました。						

意見	評価
<p>医業収支比率は大幅に落ち込み、経常収支比率の増加も繰入金の増額によるもので、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が非常に大きい。</p> <p>コロナ終息の目は立っていないが、少しでもコロナ禍前の水準への収益回復を目指す必要がある。</p> <p>また、令和 2 年度は医業収益の減収の影響が大きいが、医業収益の増収は従前からの課題であり、そのためには医師をはじめ適切な医療スタッフの確保が課題である。</p>	D

② 経費削減に係るもの

年度		平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3	令和 4
項目		年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
職員給与 費比率 (%)	目標値		72.8	74.2	70.3	69.8	69.8	69.8
	実績	75.3	74.7	76.2	75.0	97.7		
	目標値 との差		△1.9 ^ポ	△2 ^ポ	△4.7 ^ポ	△ 27.9 ^ポ		
	実施状 況	令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入院や外来の減少、健診業務の中止により、医業収益が大幅に減少したことにより、職員給与比率が高くなりました。						
年度		平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3	令和 4
項目		年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
後発医薬 品使用率 (%)	目標値		71.0	74.0	77.0	80.0	80.0	80.0
	実績	70.1	78.1	81.2	83.7	83.4		
	達成率 (%)		110.0	109.7	108.7	104.2		
	実施状 況	後発医薬品使用率は、薬事委員会において審議し、採用薬の整理と後発医薬品へ切り替えを進めていることなどにより、目標値を達成しています。						

意 見	評 価
<p>令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響とはいえ、職員給与比率が大幅に高くなっている。医業収益の増収と合わせ、コロナ対応の充実を図っていただきたい。</p> <p>後発医薬品への切り替えは引き続き進めていただき、80%以上を維持していただきたい。</p>	C

③ 収入確保に係るもの

項目		年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1日あたり入院患者数(人)	目標値			26.0	27.0	33.0	36.0	36.0	36.0
	実績		24.1	24.0	23.7	28.9	23.0		
	達成率 (%)			92.3	87.8	87.6	63.9		
	実施状況	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、入院時のスクリーニングを行うため、個室での患者の健康観察を実施する期間を設け、クラスターを発生させない対策を行う等受け入れの調整を行ったことから、減少いたしました。							
項目		年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
病床利用率 (%)	目標値			53.1	55.1	67.3	73.5	73.5	73.5
	実績		49.1	49.0	48.5	59.0	47.0		
	達成率 (%)			92.3	88.0	87.7	63.9		
	実施状況	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、入院時のスクリーニングを行うため、個室での患者の健康観察を実施する期間を設け、クラスターを発生させない対策を行う等受け入れの調整を行ったことから、減少いたしました。							
項目		年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
急性期病床平均在院日数(日)	目標値			17.0	17.1	14.2	14.6	14.6	14.6
	実績		18.8	19.6	16.3	18.9	17.7		
	目標値との差			2.6日	△0.8日	4.7日	3.1日		
	※1、2、4	実施状況	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入院者数は減少しました。平均在院日数は例年ほぼ横ばいで推移しており、目標値に達することはできませんでした。						
項目		年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
地域包括ケア病床平均在院日数(日)	目標値					36.5	33.9	21.0	21.0
	実績				19.1	18.3	20.1		
	目標値との差					△ 18.2日	△ 13.8日		
	※3、4	実施状況	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域包括ケア病床への入院者数は減少しましたが、地域包括ケア病床平均在院日数は、目標値を上回ることができました。						

- ※1 日数が短い方が効率的な医療提供を行っているとは評価できる。
- ※2 年度実績（4月から3月までの合計）に基づき算出。
- ※3 地域包括ケア病床は平成30年11月から開始。
- ※4 短期滞在手術等基本料3（大腸ポリペクトミー）、保険外診療患者数を除いて算出。

意 見	評 価
病床使用率は、令和元年度は、地域包括ケア病床が開始され実績は上がってきていたが、2年度については、コロナ禍において下がってしまったのはやむを得ないとする。しかしながら、今後は、病床使用率を上げるよう検討していただきたい。 また、地域包括ケア病床では、引き続き患者が安心して在宅復帰できるよう運営を行っていただきたい	D

(2) 数値目標以外の取組状況

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入院や外来の減少、健診業務の中止により、医業収益が大幅に減少しましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、4月21日から発熱外来、6月3日から所沢市医師会PCR検査センターの開設をしました。

医師等の人材の確保については、市ホームページや、紹介会社の利用により、採用活動を行いました。この結果、紹介会社からの紹介により、小児科医師を2名、令和3年度から採用することとなりました。

また、医療機器の計画的な導入については、耐用年数を経過し老朽化した「自動血球計数 CRP 測定装置※2」や、新型コロナウイルス感染症対策のための「サーマルカメラ※3」を導入しました。

※1 令和2年度発熱外来人数、所沢市医師会PCR検査センター利用件数

発熱外来 665人、所沢市医師会PCR検査センター検査件数 339件

※2 自動血球計数 CRP 測定装置

白血球、赤血球、血小板、ヘモグロビン、CRP（炎症反応）の測定結果が迅速に得られ、炎症性疾患、感染症の初期診断用装置。

※3 サーマルカメラ

来院者の体温測定のため、1階正面入り口に設置。

意 見	評 価
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、医業収益が減少している中、新型コロナウイルス感染症対策のため、発熱外来及び、所沢市医師会PCR検査センターの開設や、令和3年度から小児科医師2名の採用を確保できたことは、評価に値する。 引き続き新型コロナウイルス感染症対策と合わせ、病院事業の経営改善に努めてほしい。	C